

2学年通信

Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

2学年通信 103号 通算 167号

2017. 2. 17 (金) 発行

理数科「台湾紀行」vol.1 U. Y さん

こんばんは。こちらの時間で10時を過ぎておりますが、この興奮が冷めないうちに綴っておこうと思います。9時以降の携帯の使用、及び夜分遅くに連絡、誠に申し訳ございません。

1日目、人生初の飛行機でした。大輔先生に脅されていたのですが、(校長先生に窓側の席をお譲



りしていただきました。ありがとうございます。大輔先生の隣でした) 飛行機は楽しかったです。全く怖くありません。ビックサンダーマウンテンに乗っているかのように(絶叫系は大好きです)。小学生のようにはしゃいでいました。そんな私達に大輔先生がおっしゃった言葉は「なんだ、つまんね」怖がらなくてすいませんでした。さて、飛行機からの眺めは最高です。富士山を上から見ることができました。富士山より高い... 身長の高い私は大興奮です(関係ない)。現地ガイドは日本語ペラペラでした。名は「おう みんな」少し関西弁の混じった日本語。大学(in日本)の友人に関西系の人が多

かったらしいです。みんなはとにかく明るい。バスの中でかなり盛り上がりました。台湾には日本語で書かれた物がたくさんあり、異国の地という気がしません。漢字を見ればなんとか意味は理解できます。そして日本人の多いこと多いこと... ホテルのエレベーターで一緒になったおばさま方は神奈川からやって来たそうです。ホテルの従業員も簡単な日本語を話せますし、ホテル内の説明書きにも必ず日本語があります。日本人、やっぱり多いんですね。

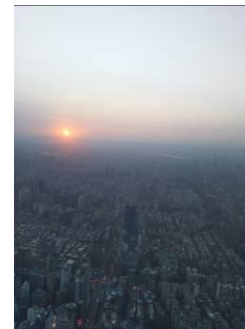
さて、2日目。「異性との写真を撮る」という司令を果たそうとしました。たまたまペアの人が男子だったため、簡単にこなせると思いました。しかし、いざとなると全く言葉が出てきません。喉の奥に「Can I take a picture with me?」が突っかかって出てきません。しかし、ペアの江君の口から「Can I take a picture with me?」が飛び出してきました。「Yeah! Ok, Ok!!」その時の私の顔は喜びに満ちていたと思われます。私は異性との写真を撮るのに成功しました。その後も学校の敷地内で何度も写真を撮りました。何度も男子に囲まれて私の周りを台湾語(大陸の中国語とは違うらしいのでこう書かせていただきます)が飛び交い、すぐく日本に帰りたくなりました。でも、江君はとても優しく... (´ ; ω ; `) 分かりやすく教えてくれました。私が英語を理解出来なかつた時は日本語に変換してくれたり... 台湾の人はとても温かかったです。そして奢って貰った「パパイヤミルク」が美味しかった...。



台湾男子はジェントルマンでした。荷物を持ってくれるのです。大丈夫だよと言いましたが持ってくれました。ジェントルマンです。台湾に移住したいです。また台湾に行きます。その時はガイドをしてくれるそうです。九份(千と千尋の神隠しの街のモデルになった所)に行きたいなあ.....。その頃には英語がペラペラで話せるよう

にします。本当に拙い英語で皆に迷惑をかけました...精進します...

交流が終わった後、「台北101」に行きました。エレベーター(日本製)がとっても速かったです。



世界一速いエレベーターとしてギネスに認定されています。展望台からは沈みゆく夕日が望めました。太陽が大きく見える...

夕食は美味しかった...しかしまだ小籠包が出ていません。せっかく来たならば食べたい...でも、「茶葉蛋(茶葉と醤油等で煮込んだ卵)」が美味しかった。

(コンビニで売っています)匂いは好みが分かれるかも知れません。

でも美味しい...こうなったら台湾のゲテモノを全て食してみたいですね

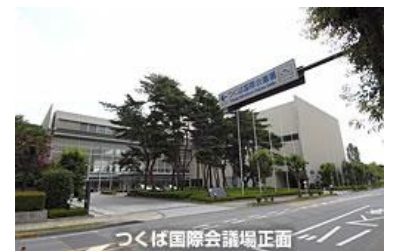
(ウソです)

この辺りで1日、2日目の報告は終わりにします。語り出せば1時間は止まらないくらいの思い出があります。(3日目、4日の分の報告もあるかもしれません)

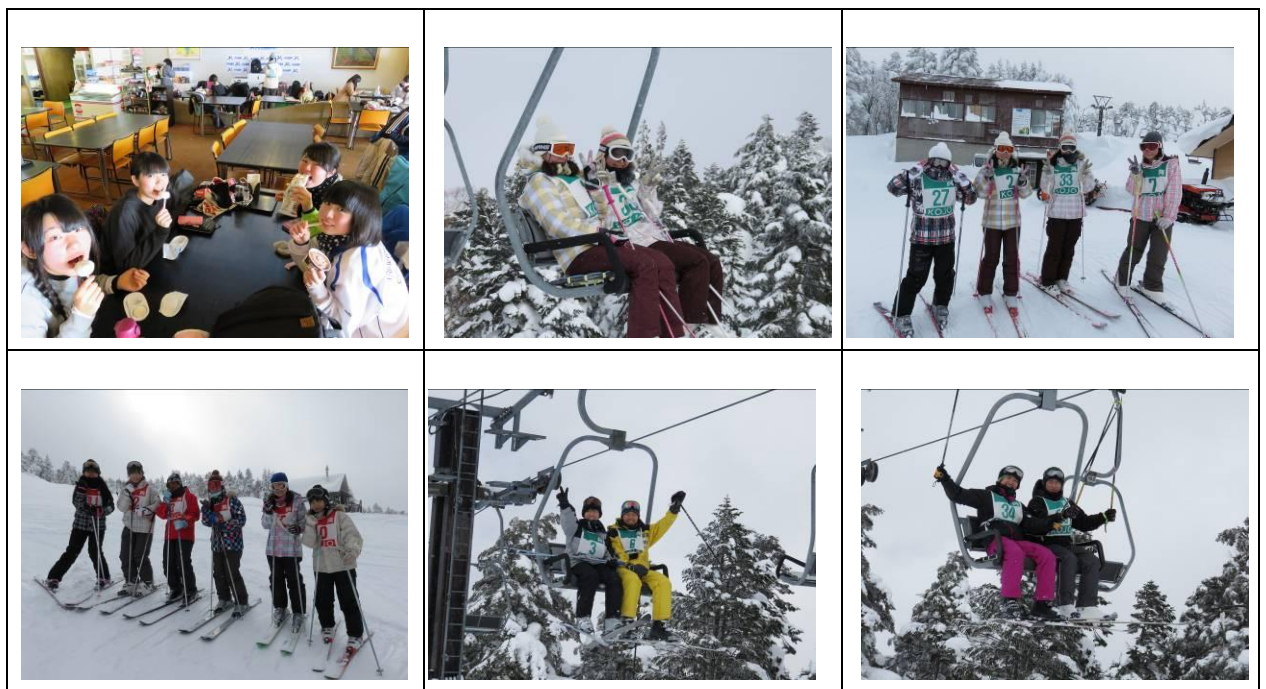
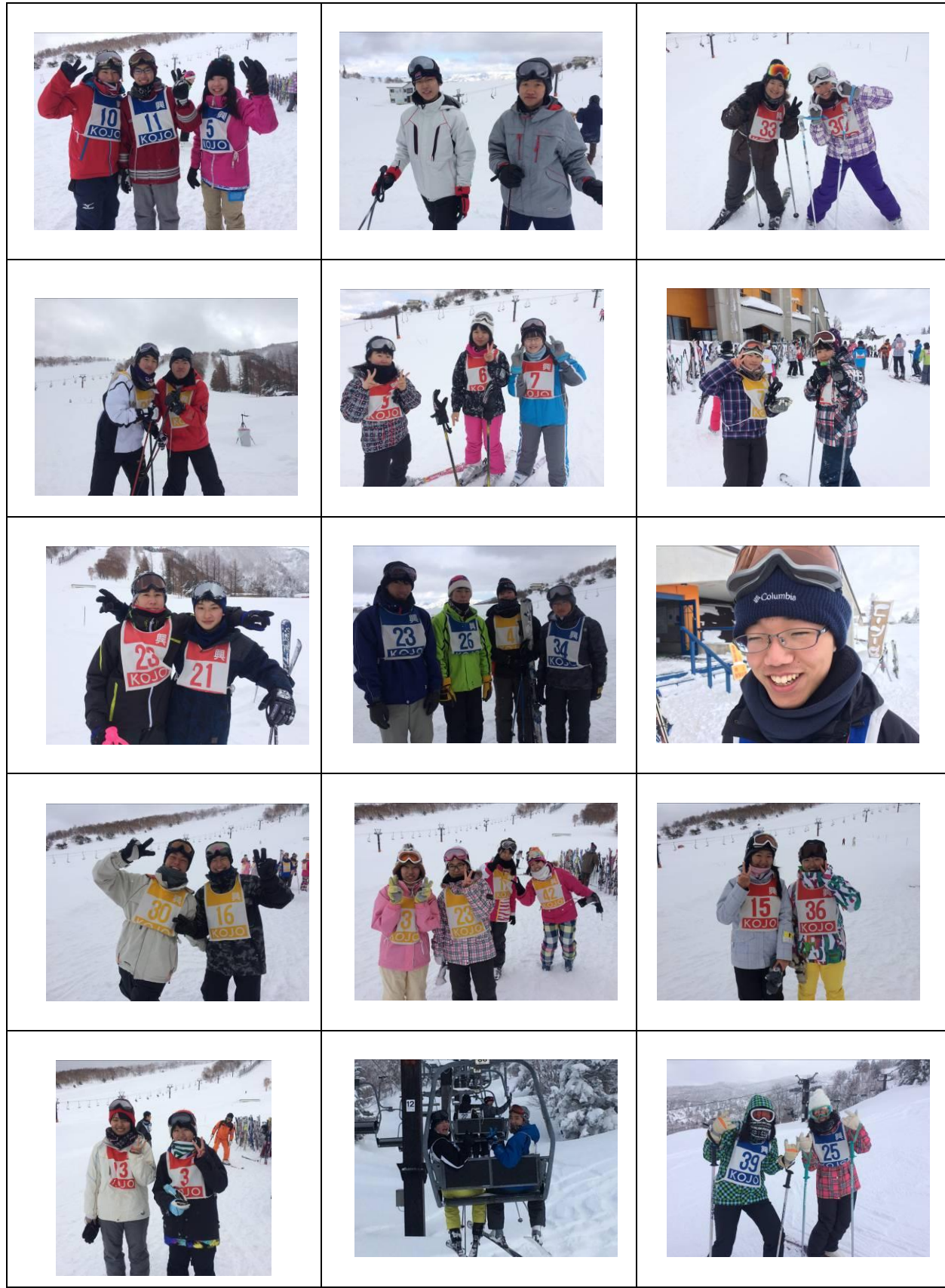
(写真を3枚添付しましたが、無事に届いているでしょうか...?最近、携帯の調子が悪いので...)

冬・物語 X II

昨夜、UYさんからメールが頂きました。理数科諸君には「台湾紀行」の寄稿をお願いしたけれど、まさか「台湾本国」から送信されてくるとは予想外でした。本当にありがとう。このメールは一番に理数科長の熊坂先生に読んで頂いたのだけれど、熟読して頂いて「楽しそうで良かった」と喜んでくれました。今年はSSH5年目。ここに至る道のりは決して平易ではありませんでした。熊坂先生をリーダーとして、全職員で何度も検討を重ねて申請・採択となったことを昨日のこのように思い出します。5年前と言えばそう、現在大学2年生の倉田学年の生徒達が入学したときから始まったのです(現在大学1年生もいるし、今も受験真っ只中の仲間達もいる。ガンバレ~!!)。その年にSSH事業がスタートし、同時に米興も7時間授業や様々な変革を行ってきたのです。3年間フルにSSHを享受したのはここからの3世代であり、現理数科諸君は2年間なのだけれど、私は「最も洗練され充実した究極の最終バージョンを享受した世代」だと思うのです。去年の夏はみんなで姫路や神戸に行きました。数学班2人はマスタで京都に行きました。12月は山形県サイエンスフォーラムで輝かしい成績を収め、1月は福島で東北地区発表会に参加し「仮装」を披露してくれました。来月3月17~21日は科学の甲子園 山形県代表として「つくば市」で行われる全国大会に出場します。それらは多くのメディアでも紹介され、様々な団体から激励金を頂いています。「お金が全て」では無いけれど、お金があればできる



こともあります。現在、来年度からのSSH継続を申請しており、継続できることを心から祈っているところです。さて、そろそろ大人の事情も十分理解できるお年頃でしょうから恩着せがましく言います。このように、2年生理数科諸君には、金銭面の支援はもちろん多くの人達の時間と汗と涙という「お金に換えられない価値」が投じられています。まず、そのような対象となった奇跡に感謝して下さい。そして、今後理数科諸君がどのような軌跡を辿るかを私達はずっと見守っていくことも知っておいて下さい。台湾やドイツ、南北アメリカ等に逃亡しても逃げ切れませんよ。実は君達の体内には...これは極秘でした?まず、帰国後は学年末考査に向けて誠実な学びを実践することです。そのような誠実さがアタナ達は少し足りません。貴重な体験をガハハ楽しい!で結んではいけません。1つでも僅かでも「今日からの生き方」に活かすことです。ちなみに熊坂先生は「上杉さん文章うまいネ」と褒めて下さいました。全員の台湾紀行を楽しみに待ってマス 終



2017/2/13-14 Koukouseikatu saigono Ski in Tengendai は☀

